

地方債(市債)の借入について

地方債残高を抑制するため、毎年地方債の借入総額を当該年度の公債費(地方債の元利償還金など)以下とすることを目標に予算編成に取り組んでいます。

経常的経費の示達時点(1月28日現在)において、政策的経費における地方債の借入可能額は14億4,153万円となりました。

項目	臨時財政対策債 ①	通常債 ②	合計 (①+②)
令和2年度公債費(A)	16億8,820万円	14億2,893万円	31億1,713万円
令和2年度経常的経費における地方債の借入見込額(B)	16億5,000万円	2,560万円	16億7,560万円
令和2年度政策的経費における地方債の借入可能額(C=A-B)	3,820万円	14億333万円	14億4,153万円

※ 臨時財政対策債は、地方交付税の一部の代替措置であることから、臨時財政対策債を除いた場合の政策的経費における地方債の借入可能額は、14億333万円となります。

※ 令和2年度公債費(A)及び令和2年度経常的経費における地方債の借入見込額(B)は、平成22年度に借り入れた地方債の借り換え分(7,163万円)を除いているため、予算額と一致しません。

※ 令和2年度公債費(A)は、一時借入金利子分(500万円)を除いているため、予算額と一致しません。

政策的経費における地方債の借入可能額について

令和2年度の予算編成においては、「新クリーンセンターの整備」や「手賀沼公園・久寺家線の整備」、「市民体育館の大規模改修」などの多額の経費を要する事業を実施することとしたため、政策的経費における地方債の発行目標額を6,397万円上回ることとなりました。

令和2年度の予算編成においては目標を上回りましたが、今後も引き続き、地方債残高の抑制を常に意識した財政運営を行っていきます。

令和2年度政策的経費における地方債の発行目標額 ア	14億4,153万円
令和2年度政策的経費における地方債の発行見込額 イ	15億550万円
差引(ア-イ)	△6,397万円

政策的経費の主な地方債(5,000万円以上)

新クリーンセンターの整備	2億9,850万円
手賀沼公園・久寺家線の整備	2億6,260万円
市民体育館の大規模改修	2億4,000万円
我孫子駅構内エレベーターの整備	9,750万円
下新木踏切道の改良	9,390万円
白山跨線人道橋などの改修	8,230万円
排水施設の改修(中峠幹線)	7,370万円
近隣センターの改修	6,100万円
水槽付消防ポンプ自動車の整備	5,950万円

※予算における地方債の金額は、その事業における借入限度額であり、実際の借入額は事業の執行状況に基づき減少することがあります。

[用語解説]

地方債(市債) 地方公共団体は、学校や庁舎等を建設する場合など、一時に多額の経費を必要とすることがあります。地方債とは、その資金調達のために負担する債務であって、返済期間が一会計年度を超えて行われる借入金です。

臨時財政対策債 地方公共団体の財源不足に対処するため、平成13年度から地方交付税の一部の代替措置として、地方財政法第5条の特例により発行される地方債です。この臨時財政対策債の元利償還金相当額については、その全額が後年度普通交付税の基準財政需要額に算入されます。

公債費 地方公共団体が借り入れた地方債の元利償還金及び一時借入金利子の合算額をいいます。